

モニターを活用した「新たなる時代の姿と政策方針」のための調査

平成11年4月

総合計画局

(要旨)

調査概要

物価モニター制度を活用して、郵送配布回収法により、平成11年2月下旬に実施。発送3,600票に対して、有効回収数は3,438票(有効回収率は95.5%)であった。サンプル属性は図表1の通り。

設問は、図表2のように、現在作業中の政策方針に関する事項によって構成されている。主な調査結果のポイントは以下の通り(カッコ内は、対応する図表番号)。

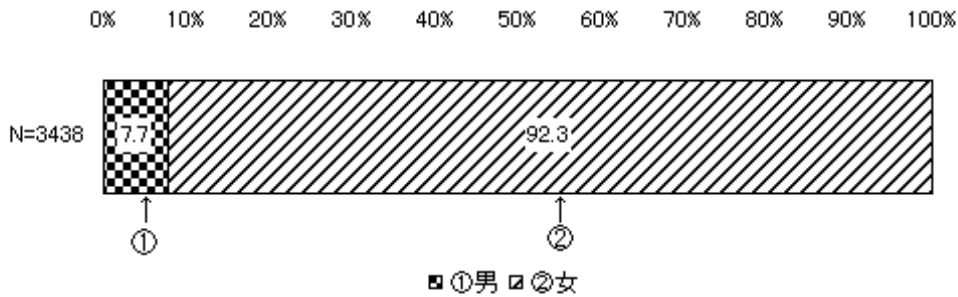
調査結果

1. 幸せの判断基準については、「人間関係の充実」や「安全な暮らし」をそれぞれ約4割が指摘。「収入の多寡」や「余暇の充実」の選択は、それぞれ1割未満にとどまる(図表3-1~3)。
2. 「住みたい国」のイメージとしては、若年層ほど「治安の良さ」、高年層ほど「社会保障の充実」を望む(図表4)。
3. 所得格差については、半数以上が、「大きな所得格差は事後的に縮小されること」を望む(図表5)。
4. 公的年金負担については、高年齢ほど「生活できる程度の最低限の給付を維持」することを期待し、世代間にギャップがみられる(図表6)。
5. 今後、重点を置くべき政策分野については、「医療福祉」分野の充実が過半数を超える(図表7)。
6. 規制緩和の効果を実感するとの回答は2割。具体的には、新製品・サービス、価格低下を指摘(図表8)。
7. 見直して欲しい仕組み・制度があると回答した者は全体の約3割。具体的には、税、福祉・社会保障、医療・保険、教育等の分野が挙げられた(図表9)。

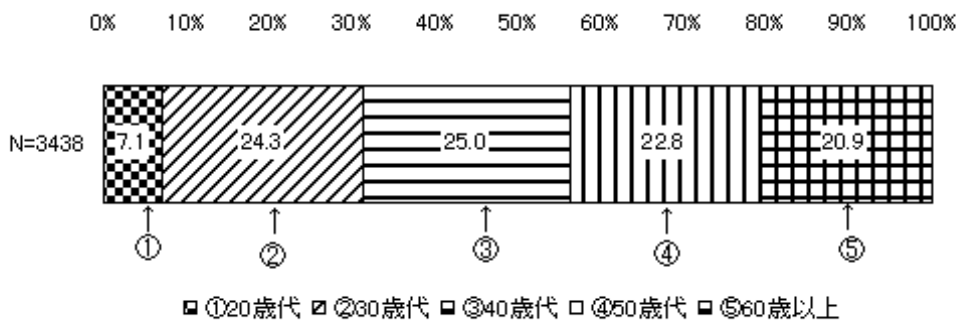
8. 「高齢期の就労」を希望する者は、回答の7割近く。希望者の多くは、その主な目的として「社会参加や生きがい」のためを選択。他方、「収入確保」を目的にする者は少数。他方、就労を希望しない場合には、5割が「趣味等個人的なこと」に、4割が「ボランティア等社会的な活動」に時間を費やすことを希望(図表10-1~3)。
9. 今後の雇用のあり方は、「長期雇用、能力主義」を7割が選択し、雇用調整よりは賃金調整を望む。従来型の「年功序列」への支持は1割未満(図表11)。
10. 外国人労働者受入れは、半数以上が現在の方針を支持。約3割は受入れ縮小を望む。受入れに慎重とする理由は、7割が「失業者の増加や労働条件改善の遅延」の恐れ、3割が「地域社会でのトラブル増加や治安の悪化」を危惧。他方、受入れ拡大の理由は、「我が国の活力向上」に次いで、「国際協力」、「文化に対する刺激」を挙げる(図表12-1~3)。
11. また、外国人労働者の受入れを許容する職種は、「日本人にできない技能を必要とする職種」、「専門的な技術を必要とする職種」との回答が約半数。いわゆる「単純肉体労働の職種」は望まない傾向(図表13)。
12. 今後、重要となる人間関係としては、約6割が「家族」と回答(図表14)。
13. したがって、今後の家族のあり方については、約7割が「家族の機能が見直される」と考え、約1割が「家族の機能が縮小」と考えている(図表15)。
14. 介護保険については、「必要な負担」と積極的に評価する割合は約2割にとどまるが、「不満はあるがやむを得ない」というものまで加えると約7割が理解を示す(図表16)。
15. 介護の担い手としては、家族・親族を希望するも、現実的には困難と考えている(図表17)。
16. 専業主婦の優遇措置については、不平等是正のため、専業主婦も応分の負担をすることに約6割が理解(図表18)。
17. サラリーマンの独立開業に対するその配偶者の賛否は五分五分(図表19)。
18. 他方、子供の独立開業の場合には、賛成が4割で反対(2割)を上回り、配偶者の場合(3割)より積極的(図表20)。
19. 街づくりの重点は、全体として高齢者に住み易く、自然調和・美的な景観を希望している。都市・郡部別には、大都市住民に「災害に強いまちづくり」へのニーズが高い(図表21)。
20. 中山間地域の役割は、食料生産(6割)、地域の勤労・生活の場(6割)が重要と回答(図表22)。

図表1 物価モニターの属性

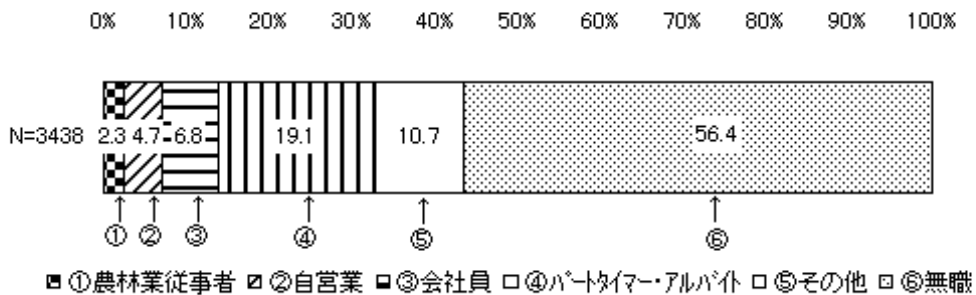
<性別>



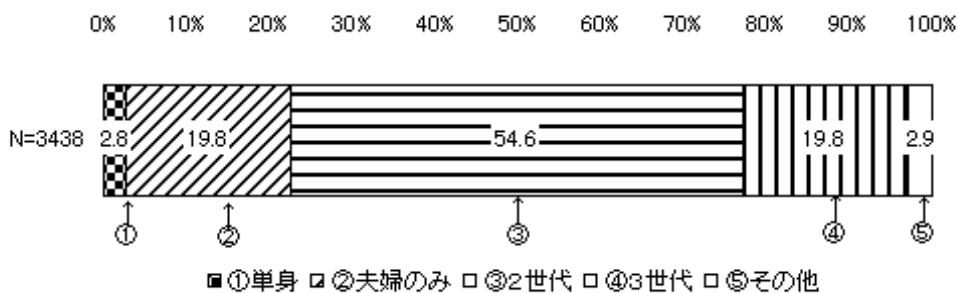
<年齢>



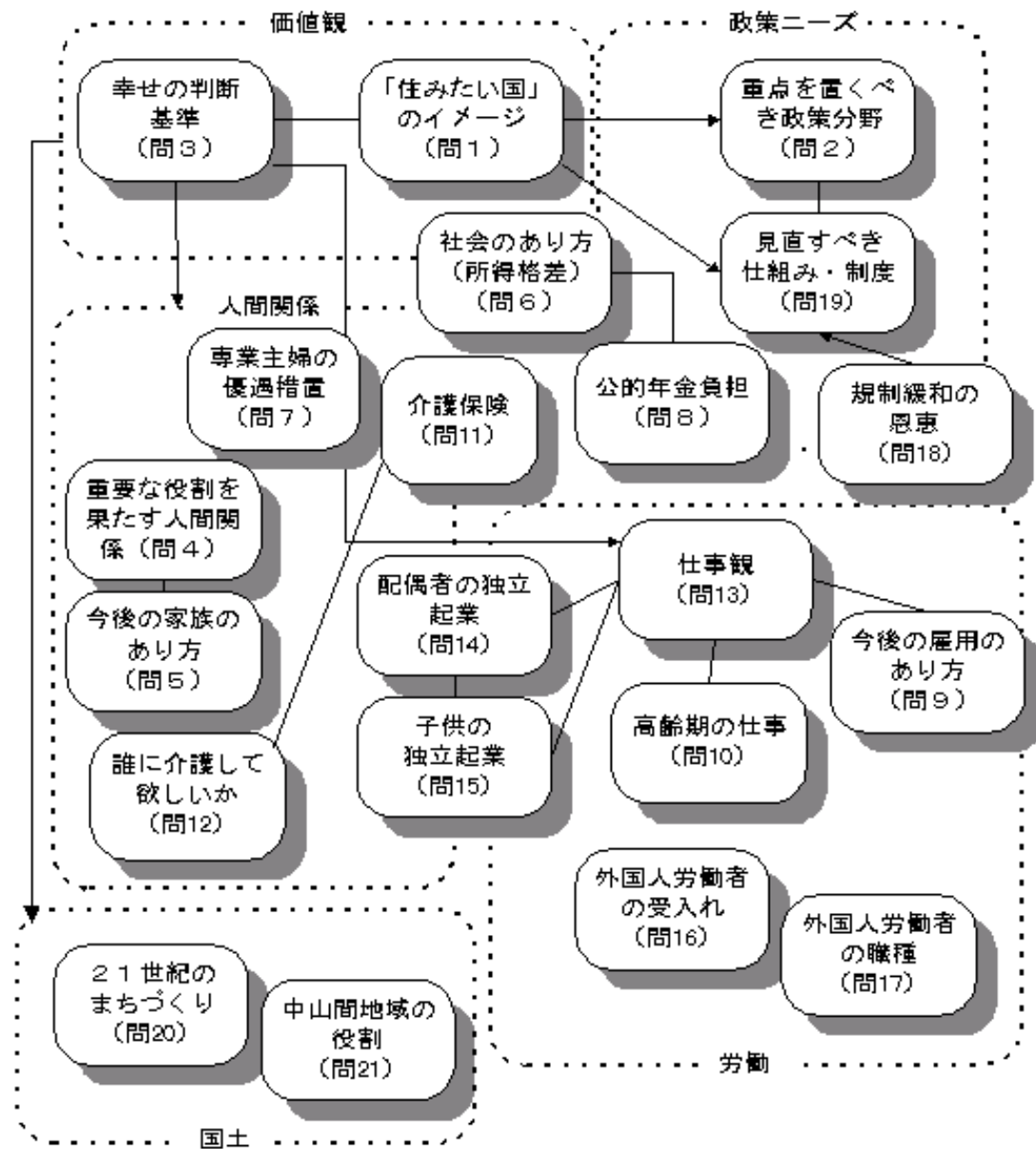
<職業>



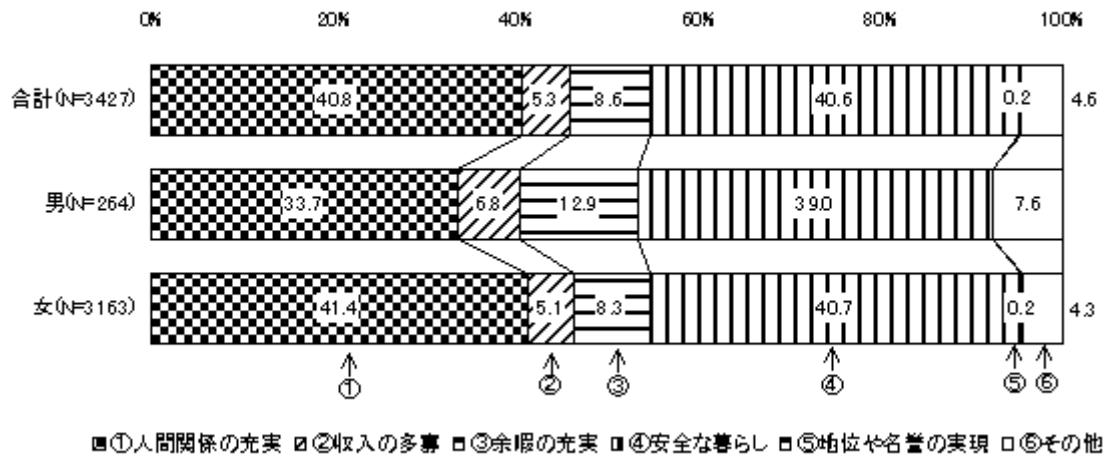
<世帯>



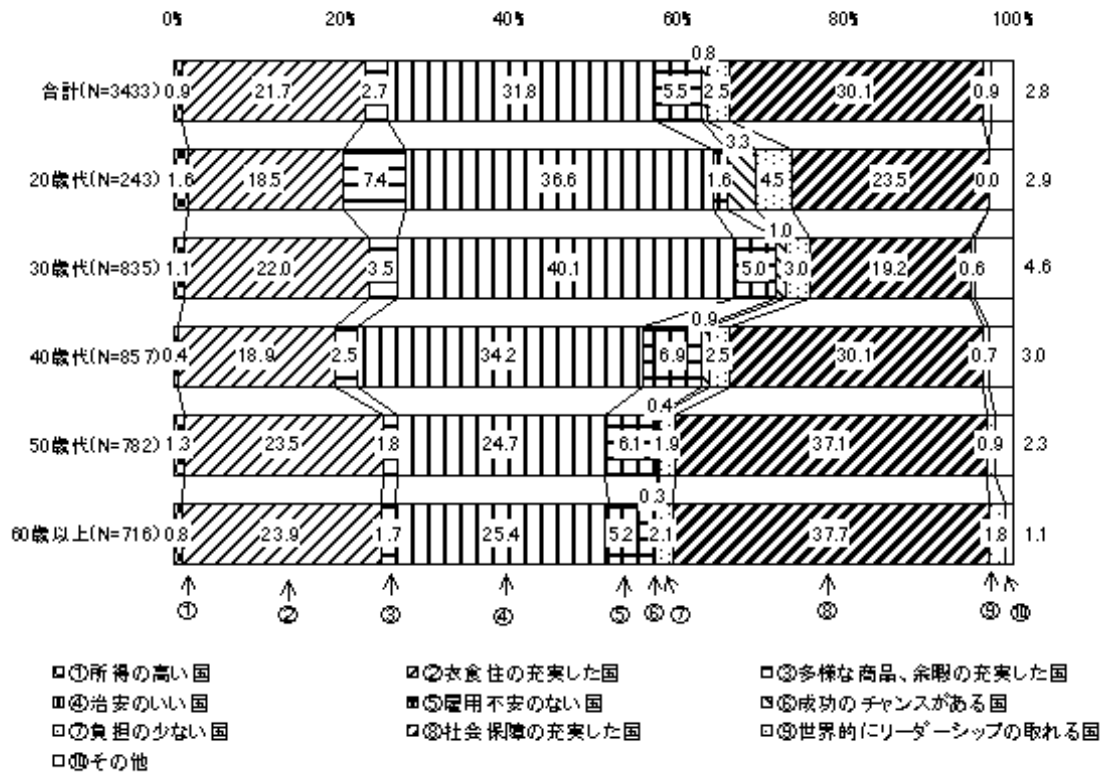
図表2 設問の体系（質問項目間の関連）



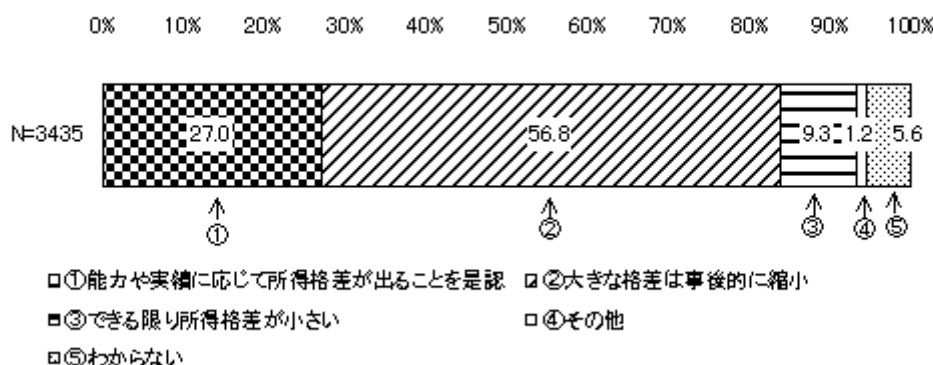
図表3-1 性別×「幸せの判断基準（問3）」



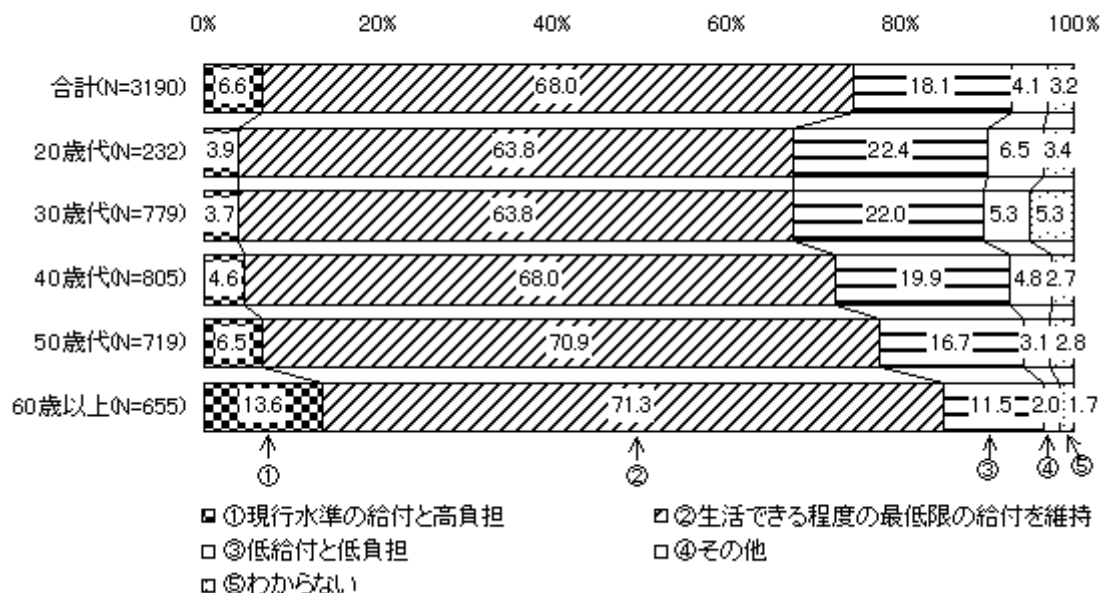
図表4 年齢×「住みたい国のイメージ（問1）」



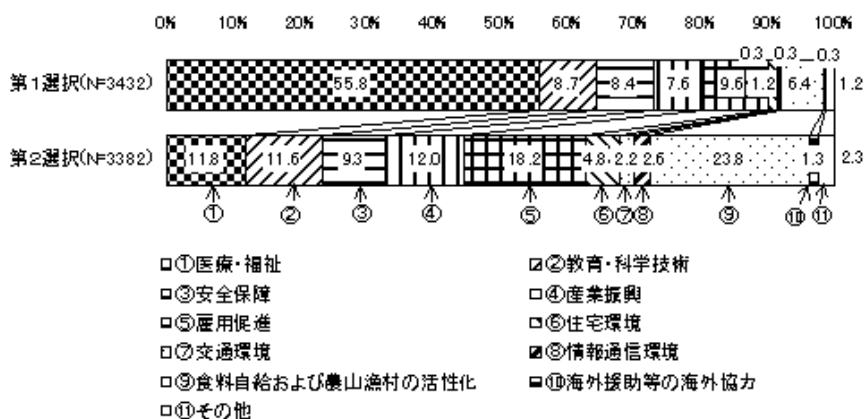
図表5 「今後の社会のあり方（問6）」



図表6 年齢×「公的年金負担（問8）」



図表7 「重点を置くべき政策分野（問2）」



図表8 「規制緩和の恩恵」の内容

記述回答まとめ(問18 規制緩和の恩恵)

1. 行政サービスの効率化	車検期間 (5)	・車検が3年になったこと
	運転免許更新期間	・運転免許が5年になった
	パスポート更新期間	・免許更新の延長・パスポート期限延長
	その他	・年金の現況届けが行政の証明が不要になって良かった
2. 競争による価格の低下	物価一般 (40)	・再販制度の廃止による価格の下落 ・競争原理が有効に機能し料金が安くなったこと ・価格競争によって値段の下がったものがある
	食品 (20) (酒類、米、肉、果物等)	・お酒が自由価格で安く売れる店が出てきた ・お米がどこでも安く買えるようになった ・ウイスキー・牛肉等の価格が下がった ・ビールの価格が下がった ・オレンジが安く購入できるようになった
	石油製品 (ガソリン、灯油、燃料等) (5)	・ガソリン、灯油などが値下げになった
	衣料品 (10)	・衣料品等安値で購入できる
	医薬品・化粧品 (15)	・化粧品が値引きされるようになった
	自動車 (車検料、整備料) (10)	・車検の低料金化 ・自動車の整備代金が安くなった
	電気・ガス料金 (5)	・電気料金が安くなったこと
	通信料金 (電話) (10)	・国際電話料金 ・携帯電話の加入料が安くなった
	運輸 (航空運賃)	・'スカイマーク'で飛行機代が変化 ・運輸関係、エア・ドゥ等新規参入により運賃価格の値下げ
	金融・保険 (自動車保険、各種保険等)	・証券関係 (口座管理料) ・車の保険代金。見積もりすると3万円違って来た
	3. 新サービス・商品の出現、多様化 <一般>	接客態度の向上 (10) (J.R.、N.T.T.、銀行、郵便局等)
商品・サービスの増加 (20) (輸入品等)		・外国の品物専門の店ができた ・輸入品の種類の増加 ・個人輸入出来る品目が増加した
流通の多様化・選択の幅の拡大 (30) (スーパー・大型店、セルフ給油、個人輸入等)		・酒類、米がスーパー、コンビニで買える ・大店法がなくなり近くに大型店ができ便利になった ・コンビニでハガキ、チケット等が買えるようになった ・セルフ給油
<分野別>	食料品 (米の流通経路・種類、発泡酒、地ビール等)	・農家より直接に米の買入れ ・発泡酒の出現 ・地ビールの登場 ・自主流通米で、多品種、価格も下がった
	通信 (10) (携帯電話・ポケベル、新電話会社等)	・PHSや携帯電話が簡単に手に入り、くらしが便利になった ・電話会社を選べるようになった
	金融・保険 (20) (金融商品、銀行ATM時間延長、外国生損保等)	・金融商品の充実 ・休日でも銀行のATMが使える ・銀行・保険業務の海外よりの上陸
	その他	・オープン懸賞の上限が緩和 ・新聞の懸賞 ・住宅取得の際、広さと税金の関係で緩和された部分があった

(注) 数値は概数である。

図表9 「制度の見直し」の内容

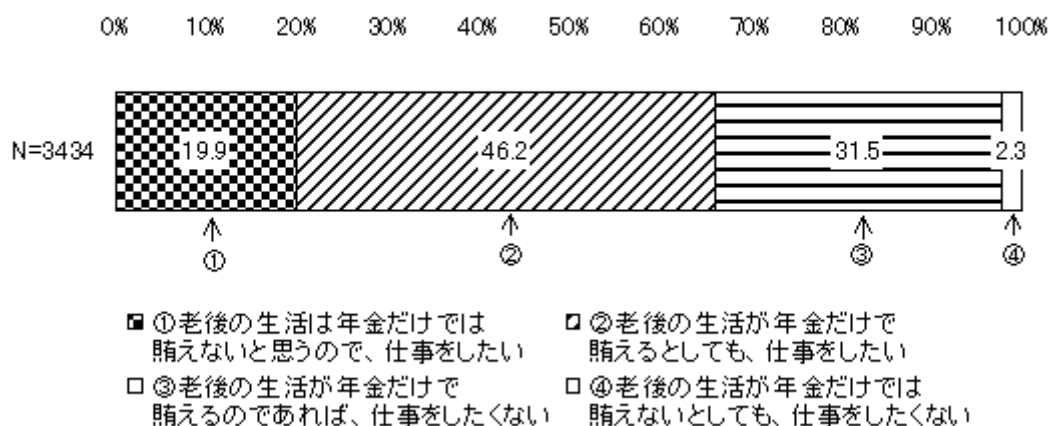
記述回答まとめ(問19 制度の見直し)

1. 行政制度	制度一般 (105)	・役所のたて割りの仕組 ・役人の天下り、学歴偏重
	規制緩和 (85)	・新聞、書籍等の再販売価格維持制度 ・たばこ販売許可制の見直し
	情報公開 (10)	・官公庁・自治体の支出に関する情報公開 ・情報公開の徹底、地方分権
	公共事業 (5)	・役所の入札制度(適正な価格と契約先の決定方法) ・公共施設のみがずばらしくなり国民個人の生活が豊かになっていない。
2. 税制度	制度一般 (60)	・税金制度・サラリーマン世帯には重税感があります。 ・税金対策としての国民総NO制の導入
	消費税 (85)	・消費税の引き下げを望みます。せめて、食料品、教育費は、非課税対象にしてほしい。 ・生活必需品の消費税を止めてほしい。
	使われ方 (15)	・税金をもっと有効に使ってほしい。 ・税金のムダ使いをもっと見直してほしい。
3. 年金制度	制度一般 (75)	・年金の給付の不均衡 ・年金の受給年令が引き上げられること。
	加入年次 (10)	・学生の国民年金は、払わなくても良いと思う。 ・学生の国民年金を支払い、選択性にしてほしい。
4. 教育制度	制度一般 (70)	・教育制度(奨学金) ・ゆとりある教育をしてほしい。
	保育 (20)	・保育園の充実 ・保育園の認定制度(社会参加などしていても、子供が保育園に入れる様にしてほしい)
	義務教育 (15)	・学校の小人数クラス制(30人以下) ・学校五日制と新学期(4月→9月に)
	大学・学歴・受験 (15)	・学歴社会を生みだすような、雇用システム、現状の教育 ・教育制度、高・大と入学しやすく卒業しにくいシステムにしてほしい。
5. 医療制度	制度一般 (60)	・医療費の患者負担額の削減。医療保険の適用範囲の拡大(出産・不妊治療等) ・医薬分業でかえって1回の医療費が高くなったこと。
	薬事 (15)	・医療機関での薬代に納得のいかない点がある ・薬品に関しての規制には配慮してほしい。
6. 福祉制度	制度一般 (30)	・障害者の救済・保護 ・老人や障害者の施設や設備に関する設置基準
	介護保険 (65)	・介護保険制度、単身で子育て(大学卒業まで含む)をしていると、とても保険料を支払う能力がないので、何とかしてほしい。 ・介護保険は子供がいない者にとってはとても重要な問題です。老人・病人にとって暮らしやすい様にしてほしいです。
7. 法制度	制度一般 (60)	・裁判を迅速に ・被害者より加害者の人権が重く扱われているように思えてならない。
	少年法 (15)	・未成年者の犯罪が多い昨今社会に合った制度をなすべきだと思う。 ・少年の犯罪に対して罪が軽すぎる。
	消費者保護 (5)	・消費者の選択が広がる反面契約上のトラブルや他重債務問題と云った消費者にかかわる問題を考えて下さい。 ・消費者契約法、等の早期制定
8. 政治制度	制度一般 (20)	・政治資金の減額、情報公開制度の強化。 ・政党助成金の廃止
	選挙 (35)	・選挙制度、中選挙区制に比例制度部分を減じる。 ・政党助成金の廃止
	議員 (15)	・国会議員の定年制 ・国会議員の定数減
9. 環境制度	制度一般 (60)	・環境の保全・回復(ダイオキシン問題等) ・環境汚染等を監視・調査指導する機関の増設
	食料 (20)	・食品の品質表示(産地等を含む)の信憑性について。 ・食品添加物の安全基準の見直し。
	農業 (25)	・米の減反制度 ・農薬の残留基準案の見直し
	ゴミ(リサイクル) (20)	・プラスチック製品等、ダイオキシン発生源となるものの販売回収ルート。 ・産廃・ゴミ問題、国としてきちんと制度を整えてほしい。安全基準は最低でも国際レベルのものにすべきだと思う。
10. 就労制度	(30)	・出産をしても仕事が続けられるように応援してくれる制度。 ・女性が働きやすいように、男性の育休、介護休業の促進

(注) 数値は概数である。

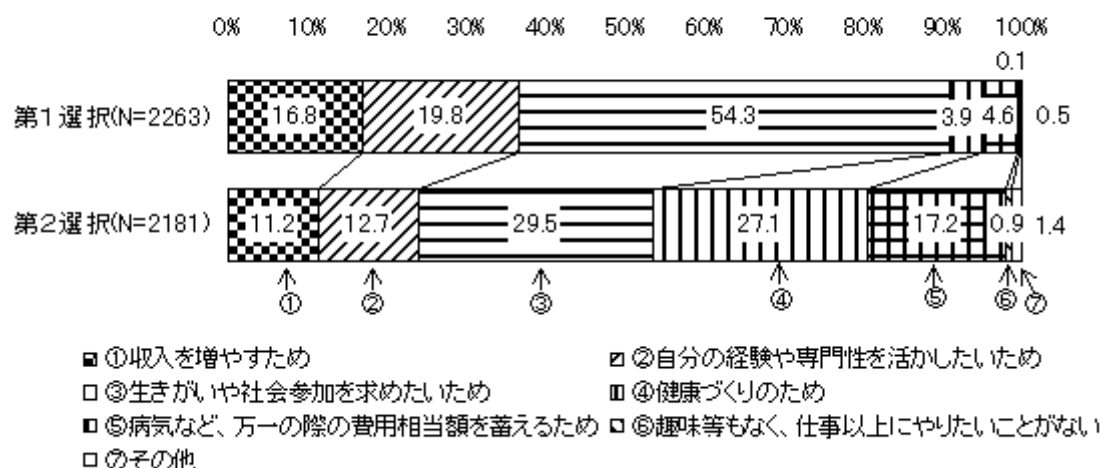
図表 10-1 「高齢期の仕事（問10）」

(1) 高齢期の就労に対する希望



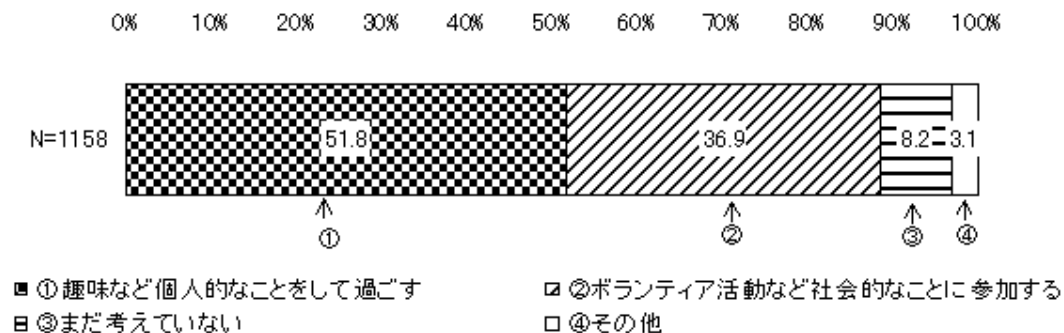
図表 10-2 「高齢期の仕事（問10）」

(2) (1) で高齢期の就労を希望した理由

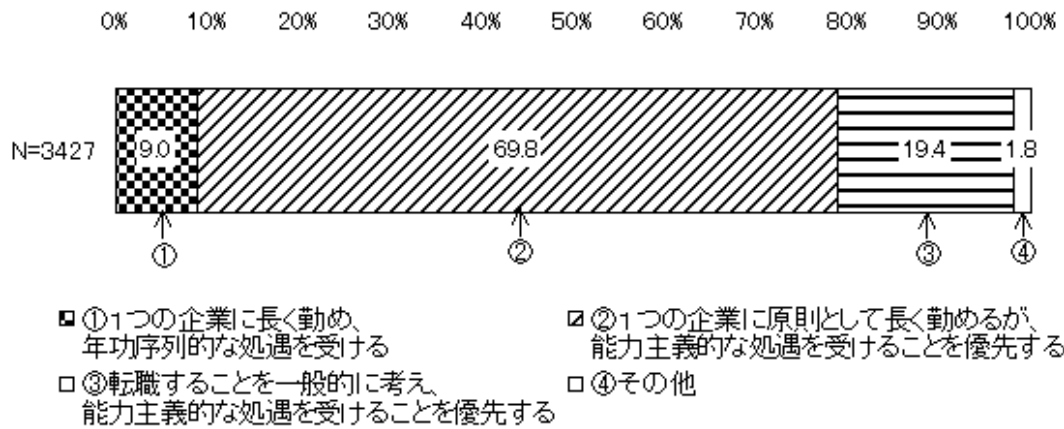


図表 10-3 「高齢期の仕事（問10）」

(3) (1) で高齢期に就労を希望しない人の過ごし方

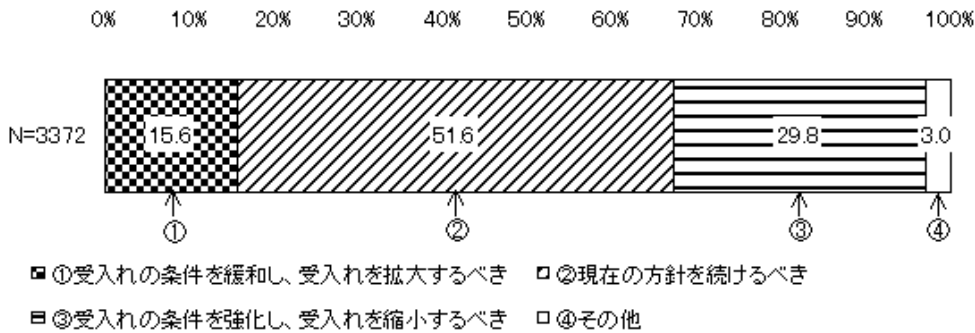


図表 11 「今後の雇用のあり方 (問9)」



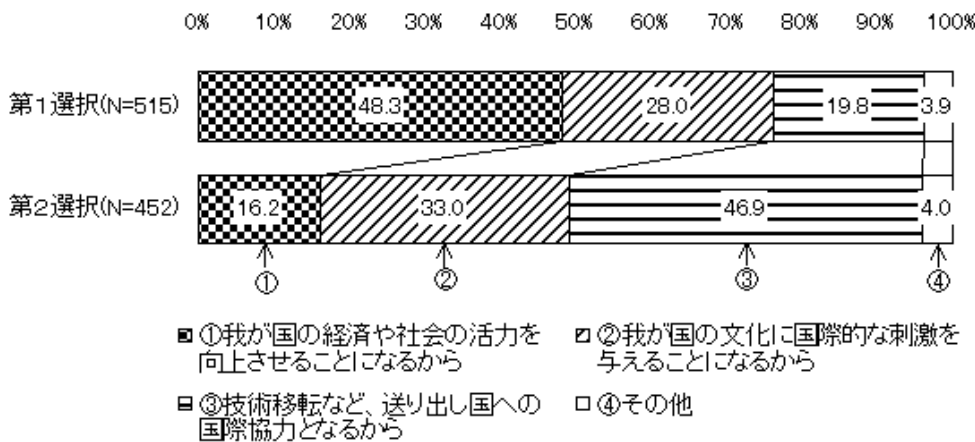
図表 12-1 「外国人労働者の受入 (問16)」

(1) 外国人労働者受入れに対する考え方

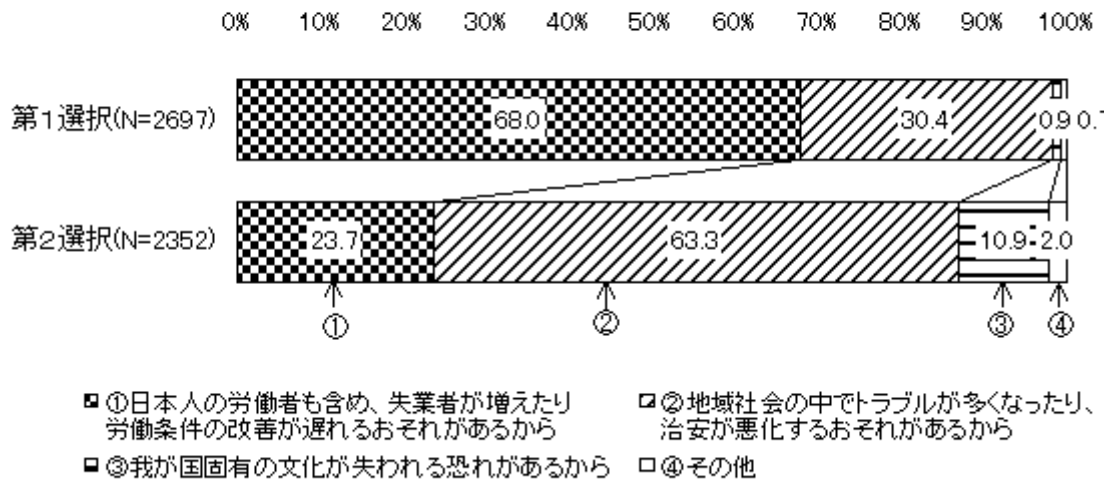


図表 12-2 「外国人労働者の受入 (問16)」

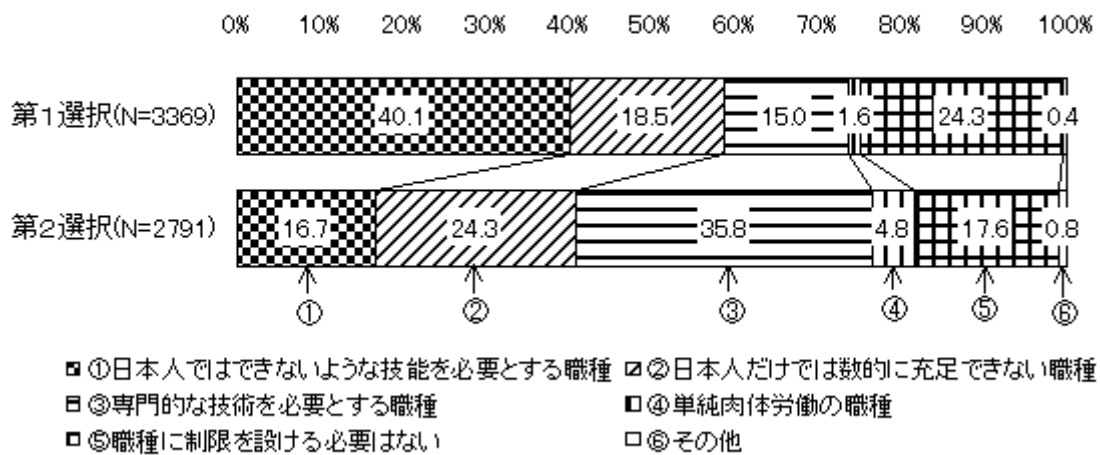
(2) 拡大するべきと考える理由



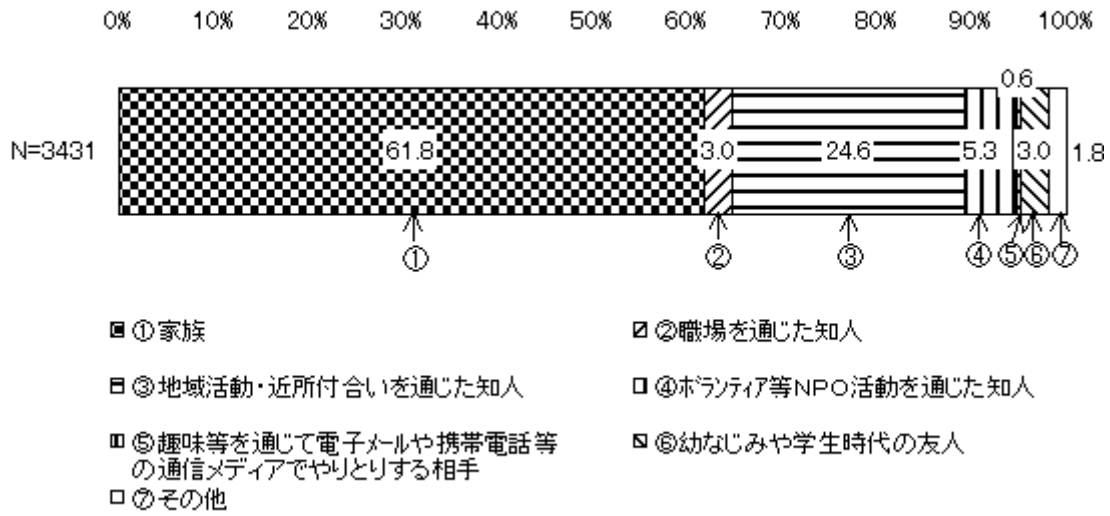
図表 12-3 「外国人労働者の受入（問16）」
 (3) 現状維持、もしくは縮小すべきと考える理由



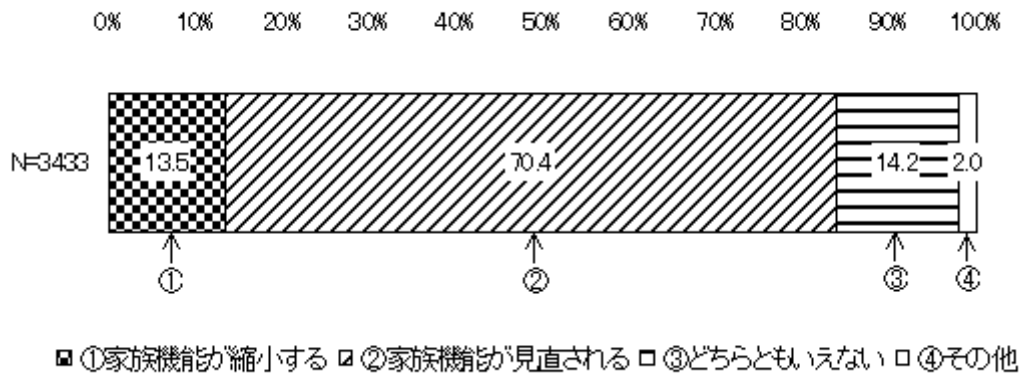
図表 13 「外国人労働者の職種（問17）」



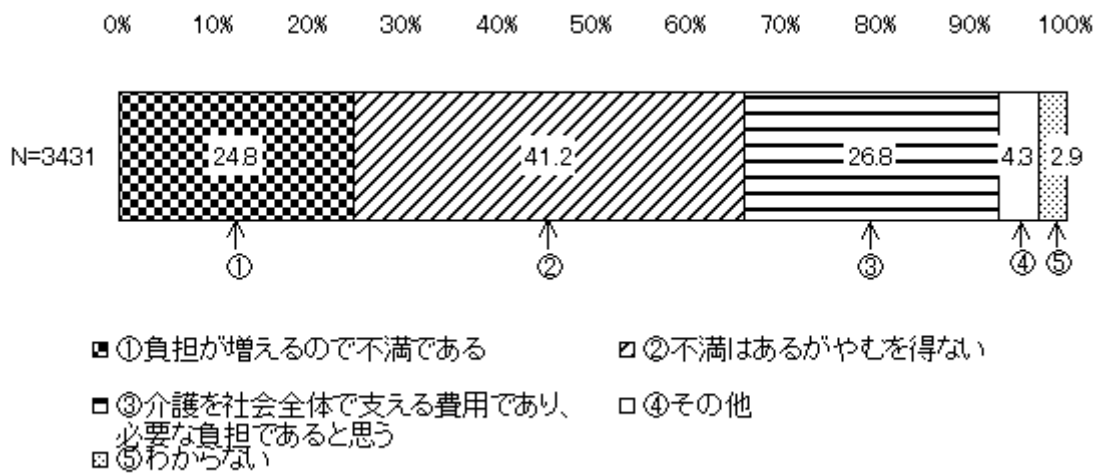
図表 14 「重要な役割を果たす人間関係 (問4)」



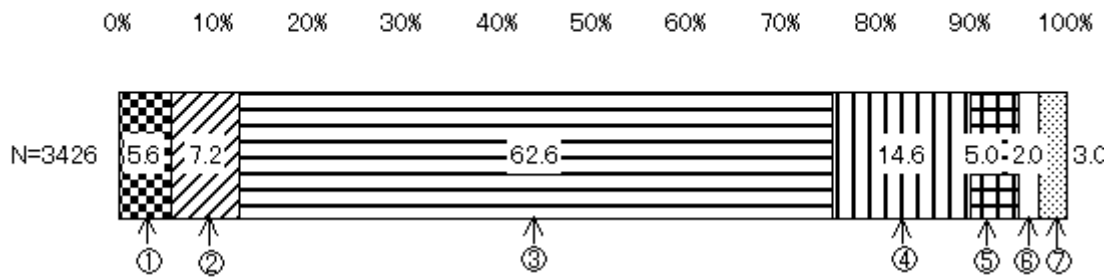
図表 15 「今後の家族のあり方 (問5)」



図表 16 「介護保険 (問11)」

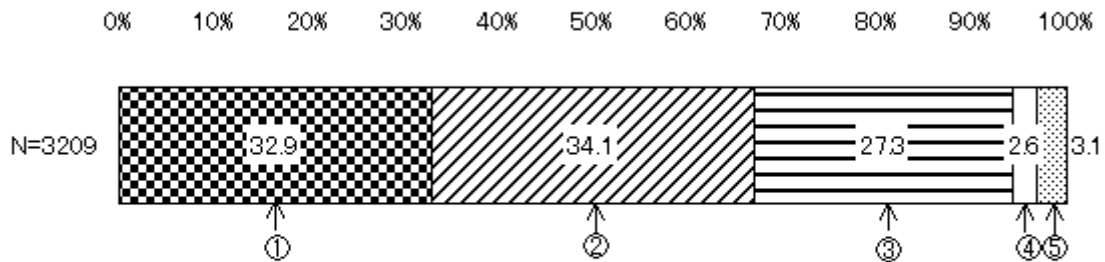


図表 17 「誰に介護してほしいか (問12)」



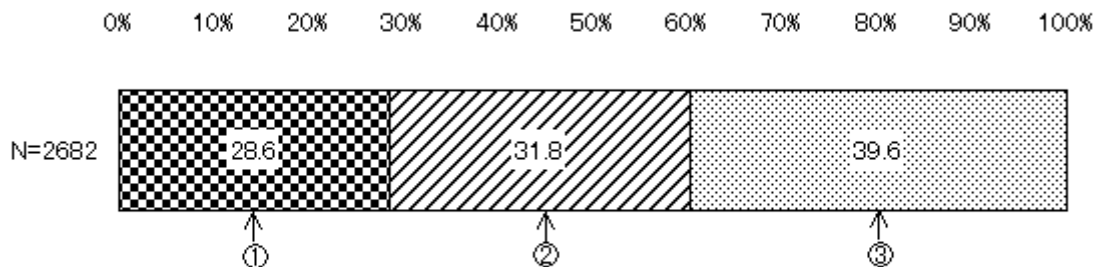
- ①誰に介護されることになっても気にならない
- ②家族・親族に介護してもらいたい。他人に介護されることは嫌である
- ③家族・親族に介護してもらいたい。他人に介護してもらおうこともやむをえない
- ④介護の専門家(ホームヘルパー等)に介護してもらいたい
- ⑤誰でもやむをえないが、他人に介護してもらおう場合は、知らない人がいい
- ⑥その他
- ⑦わからない

図表 18 「専業主婦の優遇措置 (問7)」



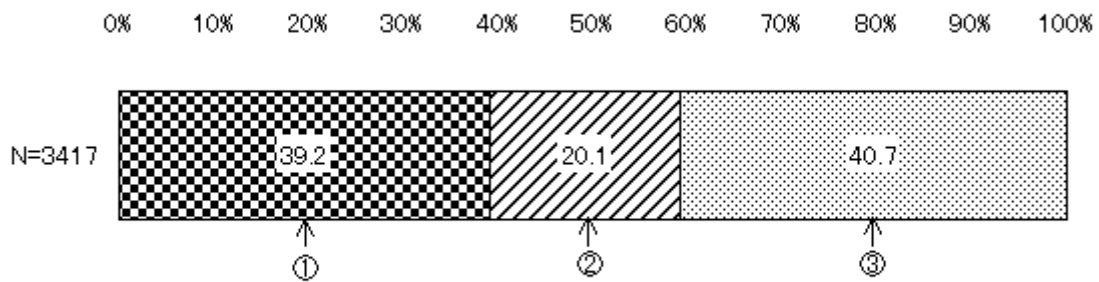
- ①負担を求めるべきではない
- ②負担はやむをえない
- ③負担を求めるべきである
- ④その他
- ⑤わからない

図表 19 「配偶者の独立起業 (問14)」



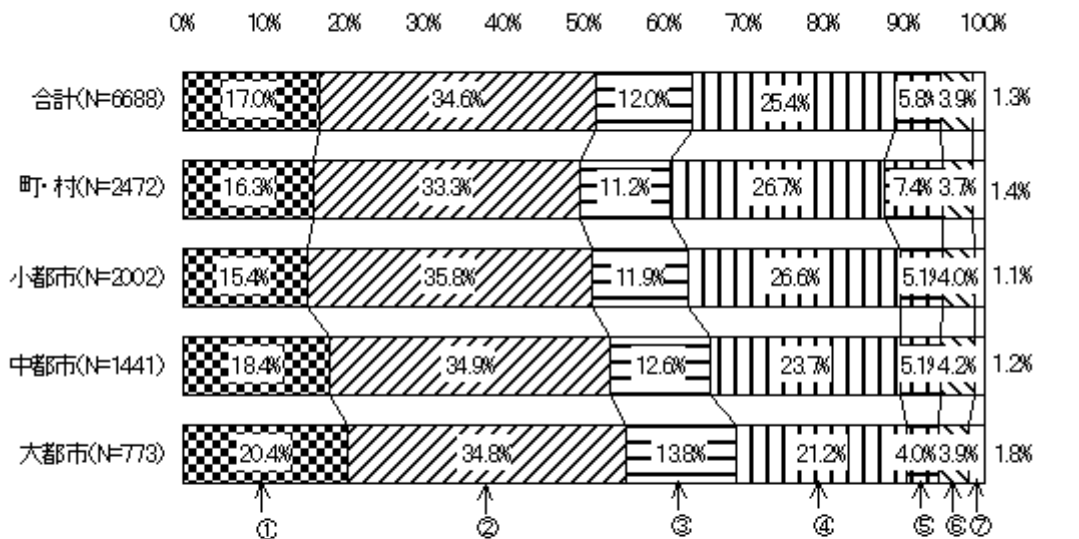
- ①賛成し、応援する
- ②反対し、諦めるよう説得する
- ③わからない

図表 20 「子供の独立起業（問15）」



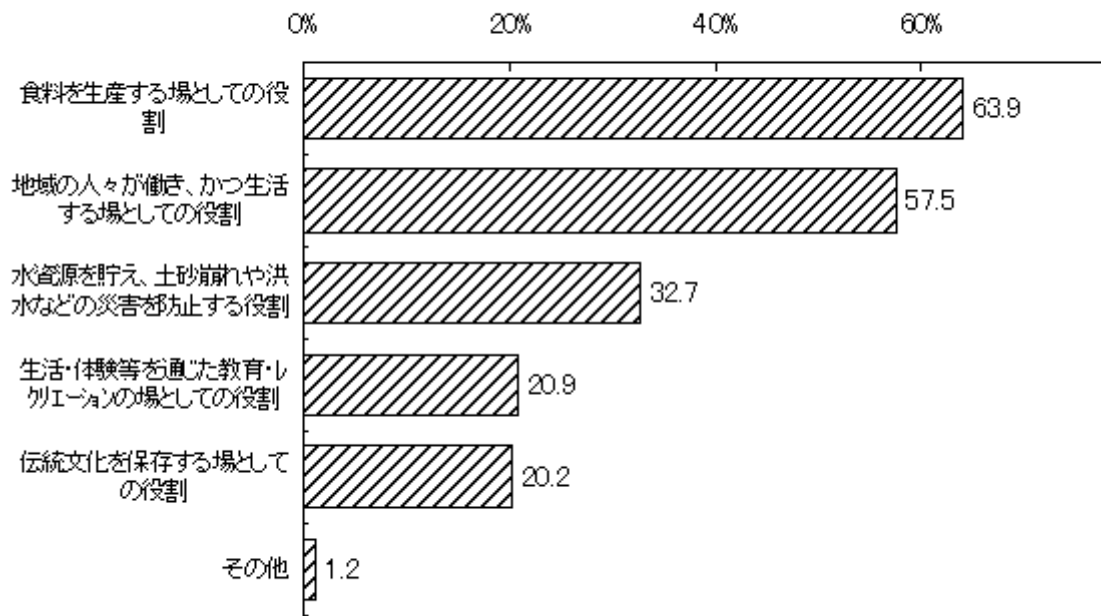
■ ①賛成し、応援する □ ②反対し、諦めるよう説得する □ ③わからない

図表 21 都市部・郡部別×「21世紀のまちづくり（問20）」



■ ①地震などの自然災害に強いまちづくり
 ■ ②医療・福祉施設が充実した高齢者にやさしいまちづくり
 ■ ③保育施設の充実した子育てしやすいまちづくり
 ■ ④自然環境との調和を重視した、景観の美しいまちづくり
 ■ ⑤通勤・通学、買い物にも便利なまちづくり
 ■ ⑥産業の立地条件として国際競争力のあるまちづくり
 □ ⑦その他

図表 22 「中山間地域の役割（問21）」



N=3375